

去るアイオス永田町において、29 名の参加者を得て第 19 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

第一部 会員様・元講師様限定の勉強会

会員様・元講師様のみ参加できる第一部では、当会の運営状況に関する議論や次回の勉強会の講師の選定、コンピュータシステム研究所(株)の千葉様から 2 次元 CAD「JDrafc」の販売状況に関する説明が行われました。



第二部 ゲストスピーカーによる講演

「JIP テクノサイエンス 橋梁 CIM ソリューションの紹介」 JIP テクノサイエンス(株) 佐藤隆彦様

鋼橋、PC 橋の設計・施工の違いや、バイブレータの振動が橋の柱頭部に行きわたっているかのみえる化、CIM モデルの作成事例に関するお話を頂きました。参加者の方からは「橋の構造について分かりやすかった、橋脚の出来形のずれも興味深かった」といった感想を頂きました。



「i-Construction への取り組みについて」 (株)アクティオ 山田圭織様、後藤李里様

UAV での起工測量や ICT 建機を活用した施工により工期を 2/3 に短縮できた事例や、VISIONLINK というサービスを活用して色分けにより掘る部分や高さをみえる化した事例についてお話頂きました。参加者の方からは、「弊社も UAV 測量を行っており、非常に参考になった」といった感想を頂きました。



「互換 CAD の歴史」「CIM JAPAN と現場見学会の報告」 当会 山本泰造、齊藤学一

山本からは、AutoCAD 及びその互換 CAD の特徴及び製品比較に関するお話を、齊藤からは、みえる化ボードの活用事例及び当会正会員が携わった現場見学会、CIM JAPAN 2016 の報告をさせて頂きました。参加者の方からは「現在 AutoCAD を使用しているが、今後の導入の参考になった」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には 21 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

